

# 学年別おすすめ 2024

# 中高生

## 津島市立図書館



タイトル横（枠の右肩）にある数字が

- ・ 9で始まる → 小説（文学）
- ・ 9以外 → 読み物 　　　　　　です。

読みたい本が貸出中のときは、予約することができます。  
また、この図書館が持っていない本もリクエスト（取り寄せ）することができます。詳しくはスタッフまで☆

## 風に恋う

額賀滯/著 文藝春秋 913.6 又



中学の3年間、全日本出場を目標にサックスに打ち込んできた<sup>もとき</sup>基だが、一度も叶うことなく卒業を迎えた。幼馴染の玲於奈からは、憧れだった千学吹奏楽部でまた一緒に全国を目指そうと誘われていたが、受験も終え、卒業を間近に控えてももう一度音楽をやろうとは思えなかった。千学を選んだのは大学受験を考えてのこと。それだけだったはずなのに……入学式の日、憧れの人と再会した基は、再び音楽漬けの日々へ飛び込んでいく。

## ヒトラー・ユーゲントの若者たち

S. C. バートレッティ/著 あすなる書房 K379ハ



かつてドイツに、ヒトラー・ユーゲントという若者だけの組織があったことを知っていますか？ 彼らはヒトラーを信じナチスを支える存在でしたが、同時に偏った教育を施され利用された犠牲者であるとも言われています。その時いったい何が起こっていたのでしょうか。当事者たちの証言をもとにしたノンフィクション。

## ようこそ！ 富士山測候所へ

長谷川敦/著 旬報社 451.2ハ



日本一高い山・富士山の山頂にある研究所「富士山測候所」。富士山頂は風が強く、酸素も平地の3分の2しかないため、すぐに息切れしてしまう過酷な環境です。そんな過酷な環境を乗り越えてきた苦難の歩みと、そこでの研究が私たちの暮らしにどのように役に立ってきたのかを教えてくれる本です。

「富士山頂でしかできない研究」に挑む、研究者たちの熱い思いに触れてみませんか？

## 木が泣いている

長濱和代/著 岩波書店 K652ナ



日本は、国土の約70%を森林が占めている、世界有数の森林国です。昔はその豊かな森を利用して暮らしていました。しかし、時代とともに森とのつながりが薄くなったことで、森林は荒廃し、多くの問題を抱えています。この本は、森林の歴史を振り返りながら、現状と課題を解説し、解決に向けた取組事例を紹介しています。豊かな森を取り戻すための一歩を、この一冊から始めてみませんか。

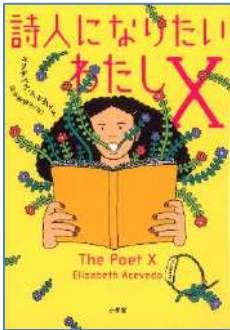
## 偉大なるしゅららぼん

万城目学/著 集英社 913.6 マ



滋賀県にある、母なる湖・琵琶湖。古来より琵琶湖のご神水により特殊な「力」を持つ日出家と<sup>ひので</sup>棗家は、1000年以上も互いにいがみ合っている因縁の関係にあった。日出分家に生まれた涼介も、高校入学と同時に<sup>いわばしり</sup>石走にある日出本家で暮らしながら修行を始めるが、高校生活で思わぬことから両家の争いが勃発して…!?. 琵琶湖を舞台に繰り広げられる、名家の特殊能力者達によるストーリー。皆様、どうか手に取りご覧あれ。

## 詩人になりたいわたしX エリザベス・アセヴェド/作 小学館 K933 ア



シオマラは、NYで暮らすドミニカ移民2世の15歳。厳格なクリスチャンの母親とは反発してばかりで、唯一自分を解放できるのは、こっそり書いている詩の中だけ。あることがきっかけで詩のパフォーマンスというものを知った彼女は、その鮮烈な世界に<sup>ひ</sup>どんどん惹きこまれていきます。全編シオマラの詩で綴られた、<sup>つづ</sup>家族と恋と成長の物語です。

## モノクロの街の夜明けに ルータ・セベティス/著 岩波書店 K933 セ



1989年、共産党による独裁が続くルーマニア。17歳の高校生クリスティアンは、ある日、秘密警察の<sup>ちよう</sup>謀報員に接触され、自身が密告者となることを誓わされた。友人や家族を裏切っているという罪悪感や、周囲の人間も密告者なのではという疑心から自分自身も信じられなくなっていく。国民の誰もが<sup>ちよう</sup>極限状態にあるなか、ある地方都市の抗議運動がきっかけで、ついに革命へと動き出す。

## 3年間ホケツだった僕がドイツでサッカー指導者になった話

中野吉之伴/著 理論社 783.4 ナ



好きではじめた部活やスポーツなのに、「試合に出られないからつまらない」という人もいるのでは？ 「自分はヘタだから」とあきらめる前に読んでもらいたいの  
が、この本。高校のサッカー部で3年間ホケツだった著者は「サッカーで生きる道」を求めて、ふと目に飛び込んできた雑誌の記事をきっかけに、ドイツへと旅立ちます。そこで出会ったのは、日本とは異なる「楽しむことを大切にす

る」サッカーでした。

## 分解系女子マリー

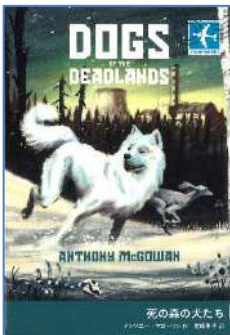
クリス・エディソン/著 小学館 K933 エ



マリーは何でも分解して仕組みを知りたがる、12歳の分解系女子。マリーあてに世界最大のテクノロジー企業から、サイエンスキャンプに招待されます。世界から選ばれた同年代の子たちと共に、学んだり、最新テクノロジーを体験したりしますが、次々に不思議なことが起こります。マリーたちの友情と正義感、科学の楽しさを知る一冊。

## 死の森の犬たち

アンソニー・マゴワン/著 岩波書店 K933 マ



ナターシャは7歳の誕生日に白い子犬をもらい、ゾーヤと名付けた。しかしその次の日、チェルノブイリ原子力発電所が爆発し、ナターシャはゾーヤを置いて避難しなければならなかった。一方、置き去りにされたゾーヤはやがて成犬になり、2匹の子犬を連れて野生で暮らしていた。しかし野生のオオカミやクマなどが棲む森は、常に危険と隣り合わせだった。

## 答えは旅の中にある

小手鞠るい/著 あすなる書房 K913 コ



舞台はアメリカ。2人の中学生が春休みに旅へ出ます。エレナは、亡くなった母が行きたいと話していたロツクの聖地、ニューヨーク州ウッドストックへ。道生は、メキシコとの国境の町、テキサス州エルパソへ。2人は旅を通して自分と向き合いながら、見る景色や出会う人々との話に心を動かされます。読んだらきっと、旅に出たくなる1冊です。

## 無限の中心で

まはら三桃/著 講談社 K913 ミ



文科系2年の野崎とわは、前田美織に頼まれて新聞部の助っ人をお願いされました。数学オリンピックの取材をすることになったのですが、部室では3人の部員が1枚のプリントを前にして興奮していました。数学の難問を置いておくと誰かが解答した状態になっていると。

数学が苦手なとわが、数学研究部と共に無限の先を考え

## あなたの言葉を

辻村深月/著 毎日新聞出版 K914 ツ



デビューからこれまで、作品の中でたくさんの中高生を描いてきた辻村さん。上手く言葉にできない自分の気持ちを代弁してくれている、と感じた人も多いかもしれません。本書は、そんな辻村さんによる新聞連載をまとめたエッセイ集です。掲載こそ小学生向けの新聞ですが、中高生も、かつて子どもだった大人にも、共感したり「あれはそういうことだったのか」と気付かされたりするエピソードも。「子ども相手だから」こそ、真摯に紡がれた辻村さんの言葉が詰まっています。

## あした、弁当を作る。

ひこ・田中/著 講談社 K913ヒ



ある朝、いつものように母親に背中を触られると寒気がしたタツ。それから母親が作る弁当も、親が勝手に部屋に入ってくることも嫌になる。そこでタツは弁当作りと洗濯を自分でやろうとするが、両親からは反対されてしまう。

これは「成長期」？「反抗期」？ それとも「自立心」なのか？ タツは友人との会話からいろんな家族のあり方を知り、自分の両親と向き合っていく。

## あの図書館の彼女たち

ジャネット・スクスリン・チャールズ/著  
東京創元社 933.7 ス



オディール・スーシェは、アメリカ図書館へ面接を受けに訪れました。館長であるミス・リーダーからの最初の質問にうまく答えられなかったことを気にしていると、良き理解者であるコーエン教授から手紙で思いを伝えたらどうかとアドバイスをもらいます。

ナチス・ドイツがチェコスロヴァキアへ侵攻して、戦禍が広がりつつある頃のお話です。

\*ここに掲載されている本は、すべてこの図書館に所蔵している本です。  
(2024.7月現在)

\*この図書館に所蔵していない本が読みたいときは、リクエストをして取り寄せることができます。「予約申込用紙」に記入し、カウンターまでお出してください。

\*愛知県図書館・ティーンズのページには、愛知県内の図書館員が選んだ中高生の皆さんにおすすめの本が掲載されています。こちらもぜひご覧ください。



## ★参考：2023 年のおすすめ

『池上彰特別授業「君たちはどう生きるか」』（159.5 イ）

『日本に住んでる世界の人』（334.4 カ）

『大きな大きな大きな足あと』（K 519 シ）

『なんで信長はお城を建てたの?』（K 521 ハ）

『おうちで作れる実験スイーツレシピ』（596.6 サ）

『食品ロスはなぜ減らないの?』（K 611 コ）

『宇宙食になったサバ缶』（K 667 コ）

---

『星の町騒動記』（K 913 カ）

『ユンカース・カム・ヒア』（913.6 キ）

『奏のフォルテ』（K 913 ク）

『理科準備室のヴィーナス』（K 913 ト）

『子どもお悩み相談会』（K 914 コ）

---

『アゴールニズ』（933.7 ウ）

『ホロヴィッツホラー』（K 933 ホ）

『13 枚のピンぼけ写真』（K 973 カ）



## ★本を借りるには

利用カードが必要です。市外の方でも作れます。

学生証など、住所・氏名の確認できるものを持ってきてください。過去に作ったことのある人は再発行となりますので、カウンターまでお申し出ください。

**貸出冊数：10点まで（雑誌・DVD等AV資料含む）**

**貸出期間：15日以内（2週間後）**

**予約・リクエスト：あわせて5点まで**

\* 取置期間はご連絡から1週間です。期間を超えるとキャンセルとなります。

\* 連続巻の予約・リクエストは順番通りにご用意できるとは限りません。

※リクエストは窓口で承ります。本以外の資料についてはおたずねください。

# ★学習室ほか館内の利用について

※感染症拡大防止のため、状況により一部のお席をご利用いただけない場合があります。最新の情報は、図書館ホームページでご確認ください。

みんなが気持ちよく利用できるよう、以下のことを守りましょう



## ○席の利用は1人1席、長時間の席取りはしない

1人でも多くの方が利用できるように、お友達の分の席取りはしないでください。席取り行為を確認した場合、防犯とお席の有効活用のため、お荷物をお預かりさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

また、席を離れるときは貴重品を持っていきましょう。入口付近にはコインロッカーもありますので、ご活用ください（使用后、お金は戻ります）。昼食等で30分以上席を離れる場合は、荷物を片付けてお席を空けてください。

## ○館内で飲食はできません

紙は水気に弱いので、館内へ持ち込める飲み物は、ペットボトルや水筒などの栓が出来るものに限ります。また館内では鞆にしまっておいてください。食事は、リフレッシュコーナーか館外のベンチ等をご利用ください。地下駐車場からの階段など、通路をふさぐ場所での飲食はしないでください。

## ○充電できません

コンセントは使えません。モバイルバッテリーをご持参ください。パソコンの利用は指定の場所（調べもの室または和室）でお願いします。

## 津島市立図書館

※状況により変更となる場合があります。

〒496-0854 津島市老松町1-1 ☎：0567(25)2145

○休館日：毎月第4火曜日

特別整理休館（年1回：11月中旬）・年末年始（12/29～1/3）

○開館時間：9時～18時、7・8月のみ9時～19時

○図書館HP：<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/>



○図書館SNS：X（旧Twitter）・Instagramとも「@tsushima\_lib」